

令和4年度福岡県国公立青少年教育4施設連携協働事業実行委員会主催

「ふくおかきっずアドベンチャーキャンプ」ファイナルキャンプ事業報告

- 1 日 時 令和5年1月28日(土)～29日(日)
- 2 趣 旨 福岡県内に住む小学校3・4年生の児童を対象に、各青少年教育施設での特色やSDGs、ワンヘルスを生かした自然・生活体験と「鍛ほめ福岡メソッド」を位置付けたプログラムを経験させることを通して、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし、自律的に成長するための基礎を養います。
- 3 対 象 福岡県内に住む小学校3・4年生の児童24名

4 研修内容

28 日 (土)	9:30	10:00	10:40	11:30	15:00	19:00	20:30	21:00
	受付	はじめのつどい	『キャンプ目標を立てよう』	『チャレンジショッピング』	『チャレンジクッキング』	今日のふり返り	入浴時間	消灯

29 日 (日)	6:30	7:15	9:00	13:30	14:30
	起床	朝のつどい 朝食	『どうぶつたちとくらそう』	ふりかえり	おわりのつどい

5 当日の様子

『キャンプの目標を決めよう』では、これまでのアドベンチャーキャンプを振り返り、どのような体験を行ってきたかを振り返りました。その中で、グループの良さや自分の良さは何かをもう一度考え、今回のキャンプの目標を作り出すようにしました。また、過去2回の活動を想起させる中で「言われて嫌だった言葉と行動と嬉しかった言葉と行動」を出させ、2日間を通して、嬉しいと感じる言葉と行動が増えていくよう、全体で確認をしました。



目標を参加者ノートに書きました。



ビーイングを通して、友達の良さを確認。

『チャレンジショッピング』では、夕飯の材料を買いにスーパーに出かけました。スーパーまでの道のりは、渡された写真カードに書いてあり、参加者はグループで相談し、試行錯誤しながら進んでいきました。また道中では、今回のテーマであるSDGsとワンヘルスに関する問題があり、参加者は熱心に解答していました。

買い物を終えた後は、実習室に移動し、グループで選んだ夕飯の完成を目指す『チャレンジクッキング』に取り掛かりました。この活動では、食品ロスを減らすことを目標にし、2つの取り組みを行いました。一つは料理を自分が食べることが出来る量に調整する。もう一つは食材をできる限り、余すことなく調理することです。調理が始まると、参加者はこれまでの経験を十分に活かし、スタッフの手を借りることなく、自分たちの力で黙々と作業して行っていました。そして、食事の後は、調理で出た野菜の皮やヘタなどをグループ毎で計測し、事前に設定した目標にどれだけ近づけたかを確認しました。結果は、すべてのグループが目標値を達成することができました。



安全に気をつけながら、頑張りました！



自分たちの力だけで作り上げました。

次の日、雪模様の中、ピクニカ共和国に行き動物とのふれあい体験を行いました。まず、到着後は各グループに分かれて飼育体験を行いました。ヤギ小屋の清掃、餌作り、餌運びなどピクニカ共和国の動物たちと触れ合いながら、動物の世話しました。その後、研修室に移動し、獣医師の外平友佳里先生の話听了。外平先生は、地球上の動物や環境には人間の営みが大きく影響しており、人間と動物が共存するためにはどうすればよいかを、参加者に分かりやすく問いかけてくれていました。



ヤギ小屋の清掃を行いました。



外平先生から動物との付き合い方を学びました。

○参加者の声

- ・(チャレンジショッピングでは)一つ一つの値段を考えて、計算することができた。クッキングでは、寒い中で食器を一生懸命洗うことを頑張った。
- ・みんなと協力したり、話し合ったりすることができ、自分の良さや友達の良さに気づくことができた。
- ・今まで、包丁を使ったことがなかったけど、みんなに褒められたりして、自信をもって活動することができた。

○全体をとおして

ファイナルキャンプということで、これまでのキャンプの振り返りとSDGsとワンヘルスを取り入れた活動を行いました。参加者はこれまでの経験を十分に活かしながら活動しており、SDGsやワンヘルスに対して、興味をもって関わるできていました。